



スターバックスをもビビらせる、『サードウェーブ』コーヒーとは？

出張で立ち寄った東京駅近くのスターバックス。突然、隣の客席で店員さんによる『コーヒーの淹れ方セミナー』が始まりました。「場所貸しの代名詞になっているスタバがなんでこんなことを？」と感心し、帰阪後に友人に話したところ、「サードウェーブコーヒーの影響でスタバも焦ってんだね〜」ってことで、スタバがビビってる。これって何？

サードウェーブ（第三の波）というわけですから、第一、第二があるわけです。アメリカでの珈琲文化のなかでも、**第一の波**：19世紀後半～1960年代まで続く、大量生産・大量消費のコーヒー時代です。流通の発達によって、安価になったことでコーヒーはポピュラーな飲み物になりました。

第二の波：1960年代からシアトル系コーヒーチェーン（スターバックス）などの台頭によって広がった、深煎り高品質の豆を使ったコーヒーの時代です。カフェオレやアレンジコーヒーが流行り、ロゴ付き紙コップを片手に歩くことがクールだとされ始めたのもこの時代です。このころ、珈琲生産地では大手資本に買い叩かれ、珈琲農家は四苦八苦の苦しみでした。

そして**第三の波**が今コーヒー業界に到来！
コーヒーの産地への配慮や価値などが注目されるようになり、トレーサビリティ、豆の素材や淹れ方など、各工程にこだわるスペシャリティコーヒーが注目されています。国別のブランドになっていた珈琲豆も、シングルオリジンとして、ワインの様にその畑のその品種、その生産者だけのものが重宝がられる時代が来たのです。ハンドドリップで一客ずつ丁寧に淹れるスタイルがトレンドの中心です。



【大阪北浜にあるサードウェーブコーヒー店】

このこだわりのコーヒーを提供するお店が、今アメリカからどんどん日本に進出してきています。その代表格が東京にできた「ブルーボトルコーヒー」。創設者ジェームス氏によると、日本の昔の喫茶店のコーヒーに対する真剣さや気遣いが魅力的で、さらにはおもてなし精神が学べるということで日本進出を決めたのだそうです。コーヒー業界の最先端「サードウェーブコーヒー」ですが、実は古き良き日本の喫茶店の影響を受けた「おもてなし」文化の象徴といえるかもしれません。

このサードウェーブはコーヒーだけではないと感じます。コーヒーにしても佃煮にしても、嗜好品というのは上手に物語を作ってあげて、付加価値を付けたものがヒトに響く世の中です。安くてそれなりのものがあり余る中で、大金をはたいてでも、長蛇の列に並んででも口にしたいと感じるのは、こだわりの手法なのか素材なのか、誰かが手間暇かけたからこそ、なのですね。

表参道で行列のポップコーン、心齋橋では...？



東京、原宿で長蛇の列を記録した、シカゴ生まれのポップコーンブランド『ギャレットポップコーン』が心齋橋商店街に関西初上陸。松前屋のご近所に8月5日、オープンしました。心齋橋店はシカゴの店舗に近いデザインで、看板や照明も他店にないオリジナルのものだそうです。

オープン2~3日は、炎天下の御堂筋にまで長い行列ができ、待ち時間2時間...！お隣のパブロ（チーズケーキ屋）の全盛期が思い出せれます。ところが数日もたつと、店外に列はほぼなし！拍子抜けです。

一方で、原宿の店舗はというと、開店から3年目になるようですが未だに1、2時間待つ時もあるようで、場所やそこに来るお客さんの属性によって話題の店がこんなにも違う評価なのかとビックリしました。

「待ち時間がないのなら」と試しに行ってみました。店先でオーダーして、店内で待つこと20分！店員が7名いるにもかかわらず、オーダーに応じて1つ1つ袋詰めするので、なかなか列が進みません。『人は人の背中をみて集まってくる』という心理をついているか、不慣れで手際がわるいのか？

ドーナツ戦争やチーズケーキ戦争の時とは違って行列はそれほどでもないのですが、黙って待っているほどのパフォーマンスもなく、少々不満が残りました…。しかし、さすが！お味は文句なくおいしい！！東京で行列ができるわけです。海外ものというだけあって、味がしっかり濃厚。機会がありましたら、このジャンキーな逸品を体験してみてください。



健康法師の独り言 パート61

筋膜をはがす「カッピング」

ストレッチ教室に通って1年半。最近はこちらと手ぬるくなってきて、家でやるのが少なくなってきました。倦怠期ってところでしょうか？！ 倦怠期解消法は決まっています。

①場所をかえる、②相手を変える、③やり方を変える…この3つしかありませんね。

前回ミニローラーで背中をゴロゴロして、『筋膜をはがす』というものを紹介しましたが、『はがす』というのはちよつとイメージが違いう気がしていました。『はがす』ならばカッピング！ 昔、整骨院でよくやってもらったもので、紙面でもご紹介しています。



通販でカッピンググッズを購入し、ストレッチ女史先生に頼み込んで実施。カップを付けて空気を抜いて、筋膜を引っ張りながらの荒業ストレッチに挑戦しています。もちろん動きにくくはなりますが、小さな動きで効果は抜群です。血液の循環の悪く硬くなっている部位は赤黒くなり、どこが悪いのかははっきりとわかります。体の水玉は1週間ほどで消えますが、気にされない方は試してみてください。体が回る回る、動く動く！ 効果は絶大です。

編集後記

今回の通信はいかがでしたでしょうか。サードウェーブコーヒーのお店に、皆さまは行ったことがございますか？私はコーヒーが苦手な方なので、この通信の取材がきっかけで行ってききましたが、こだわりの豆、こだわりの焙煎法、こだわりの空間で飲むコーヒーはなかなか味わい深いものだと感じました!! 是非皆さまも行ってみてください。松村

